



日本国際薬膳師会

<http://yakuzenshi.jp/>

目次	日本国際薬膳師会の活動指針…………… 1	お店紹介 普茶料理「梵」…………… 5
	中部地区特別講演「舌診」最終回…………… 2	北京薬膳研修旅行報告/国際薬膳師 合格者の報告/トピックス…………… 6
	「鬱証」の中医弁証論治②/本の紹介…………… 3	会員の声…………… 7
	日本国際薬膳師会通常総会報告/ 講演「鍼灸治療と漢方治療の特徴」…………… 4	各部報告/交流部報告/編集後記…………… 8

日本国際薬膳師会の活動指針について



日本国際薬膳師会事務局長・副会長
海老原永磯子

去る5月20日、平成29年度日本国際薬膳師会通常総会が品川区立総合区民会館（きゅりあん）で開催され1年間の事業計画と役員が承認されました。11名の新役員の活躍を期待するとともに会員の皆さんの協力をお願いします。

今年度は休部であった**認定部**が再開され、部長他4名の新役員が市川担当副会長のもとでホームページ掲載用の薬膳料理の認定作業などの業務に取り組んでいます。

総務部は組織強化、会員増加、会計などの業務が主になります。今年は450名以上を目標にしています。有資格者でまだ本会に入会されていない方をぜひお誘いください。

学術部は国際薬膳師のプロフェッショナルとしてのサポートをします。そのための研修会を開催していますが、参加者の固定化がみられ活動が十分に反映されていないのが現状です。会員のニーズを把握するために皆さんの遠慮のないご意見を伺い研修内容の充実を図りたいと考えています。

事業部は恒例の設立記念講演会を11月23日、エッサム神田グリーンホールにおいて「東洋医学における未病対策としての生薬と薬膳」をテーマに緒方千秋氏をお迎えして盛大に開催いたします。万障お繰り合わせの上ご参加ください。

また『早わかり薬膳素材』『体質改善のための薬膳』『薬膳基礎・早見シート』などの日本国際薬膳師会の出版物も好評発売中です。必ず1冊手元において薬膳知識のレベルアップや仕事にお役立ててください。

広報部は会報「くこ」を年3回発行しています。全国各地にいる会員の皆さんに、薬膳の仕事を応援するためにより

良い情報発信をする機関誌であり続けるよう、常に知的刺激を与えるような誌面作りを目指しています。

交流部の活動は国内外の薬膳関連機関との交流や会員同志の親睦などがあげられます。5月25日から5日間、国際薬膳師資格証書授与式並びに中国中医營養薬膳分野の専門家との学術交流、北京中医药大学訪問など大変有意義な研修旅行でした。また美味しい薬膳料理を食べる親睦会も多忙な日々のオアシスになることでしょう。

IT部は平成28年7月から、ホームページをリニューアルし、新しいホームページを開設しました。この情報社会において薬膳の話題も溢れています。その中で本会では中医学に基づいた本格的な薬膳理論や薬膳料理の知識と技術の情報提供を行い、それらの問題の解決に役立つようなホームページの更なる充実を考えています。なお、「お知らせ」や「研修会」「トピックス」などのニュースを発信しますのでホームページをチェックすることを忘れなく。スマートフォンでも利用できます。

中部地区（名古屋）では6月29日、辰巳洋会長による『薬膳から見た「腸内環境」の整え方』についての講演会と親睦会を刈谷市「サニーナチュラルクッキング」で開催しました。本会の活動は会長、副会長5名、部長と副部長14名と常務理事3名、会計2名、理事32名の総勢57名の方々のボランティア活動によって支えられています。

役員の方々はご多忙にもかかわらず、本会の趣旨に賛同されて多様な活動に精力的に取り組み、会の発展に尽力しています。

日本国際薬膳師会が薬膳の分野にあつてリーダー的な存在になれるよう会員の方々の活躍を期待しています。



各部報告・お知らせ

▲総務部：

- 第 13 回日本国際薬膳師会通常総会が無事終了しました。7 月 1 日現在、会員数は 422 名です。
- 年会費 3,000 円のゆうちょ銀行自動振込にご協力ください。(毎年 3 月 25 日に次年度の会費引落し)
会費振込先：①ゆうちょ銀行 口座番号 00140-6-595914 加入者名 日本国際薬膳師会
②三菱東京 UFJ 銀行神田駅前支店 普通預金 口座番号 2189884 名義 日本国際薬膳師会 辰巳洋

▲学術部：

- 6 月 16 日(金) 五海ゆうじ先生を迎え、「魅せる写真の撮り方」の講義と実習を行いました。
参加者 19 名。各自、実際に料理を撮影し、先生の助言でそのコツを学びました。
- ステップアップ研修会「3 つの症例からひもとく中医薬治療」講師 菅沼栄先生
7 月 14 日(金)『淋症』、9 月 8 日(金)『腰痛』、10 月 13 日(金)『眩暈』



▲事業部：

- 日本国際薬膳師会設立記念講演会
演題：「東洋医学における未病対策としての生薬と薬膳」
講師：緒方千秋先生（北里大学東洋医学研究所薬剤部 科長）
日時：平成 29 年 11 月 23 日(木・祝) 13：30/場所：エッサム神田グリーンホール（会費 2,000 円）
- 『薬膳の基礎・早見シート』・『体質診断&食材早見表』・『平成 28 年度研修講座レジメ』の販売
☆講演会、販売品等の詳細は、同封のチラシまたは当会 HP をご確認ください。なお、5 月に出版しました『早わかり薬膳素材～食薬の効能・性味・帰経～』（源草社）は書店にてお求めください。

▲交流部：

- 都立薬用植物園見学会 5 月 7 日(日) 参加 13 名
- 国際薬膳師資格証書授与式・北京薬膳研修旅行 (5/25～30 日) 参加 14 名（うち証書授受者 8 名）
- 中国美食薬膳研究会「美食薬膳料理コンテスト」トルコ大会 (8/5～11 日)（日程調整できず不参加）

▲IT 部：

- Facebook を始めました。総会出席、委任状に HP をご利用いただき有難うございました。
- 「今月の薬膳」は、二十四節気の特徴と身体の特徴を併せて「おすすめ薬膳」を発信しています。
4 月「鶏レバーペーストとえんどう豆のポタージュ」/5 月「根菜の煎り豆腐炊き込みご飯」「豆乳と季節野菜の濃厚食べるスムージー」/6 月「菊芋まんじゅう鶏そぼろ包み」
メニューを通して会員の皆さんとの交流の場にしたいと思っています。ぜひ、地域の食材も併せた薬膳を発信してみませんか！レシピの作成者や教室名を載せることができます。お問合せはメールで。

▲広報部：

会報「くこ」44 号発行、「くこ」45 号(12 月 1 日)発行予定、日本国際薬膳師会パンフレット制作

交流部報告 都立薬用植物園見学会「ケシの花」を中心に

5 月 7 日に都立薬用植物園に行ってきました。桜の開花宣言が早く出たのに満開には時間がかかり、暖かくなるのが遅い春だったのでしょう。例年の「けしミニ講座」ではケシの花は満開だそうです。今年は半分くらいでした。大輪で色鮮やかな花ですが、そのケシには毒があります。この毒は薬にもなるので植物園では厳しい管理のもと栽培されています。ここでは、絶滅危惧種の植物も栽培されており、この時期、ボランティアガイドの方の一押しは「金蘭」です。また白く小さな「タツミ草」も可愛く花を咲かせていました。さて、見学会から間もなくのニュースで、蕈による食中毒が報じられていました。植物園の資料室で見学し、『身近にある有毒植物』という本で読んだばかりでした。「自宅の庭のスイセンの葉を蕈と間違えて炒め物にした」と。本の中には、八角（トウシキミの果実）とシキミの果実（猛毒）がよく似ているとも書かれています。香りも違いますし、裏返してみると違いは分かるのですが、その知識が有るかどうかが大切なところです。

ゴールデンウィークの最終日、晴天に恵まれ、新会員の方も参加してくださり、13 名での薬草園見学は、大切な勉強をする機会に恵まれました。

(記：石川歩)



試験栽培のケシ



キンラン



トウシキミ シキミの果実

編集後記

八月の空はあくまでも青く、勢いを感じます。夏至の頃は陽が最盛であり「くこ」の今号が届く頃は立秋です。二十四節気通りには季節を感じる事が難しい最近ですが、体の養生は二十四節気に倣いましょう。「くこ」も会員の皆さんの知的養生となりますよう努力しています。ご意見などお寄せ下さい。 N. S.

